

KITAURA

Culture + Innovation

大いなる夢咲かせます。

「変化の未来」に挑戦します。

「大地の息吹」に価値を創造します。

「明日の世代」にふれあいを手わたします。

平成16年 8月27日(金) 発行No.448

広報きたうら

茨城県行方郡北浦町



知ろう・食べよう。北浦の野菜 p2

体験学習

観光

インフォメーション・トピックス

インフォメーション

スポーツ

町史編さんだより④

はつらつ保健だより・新着図書

みんなの広場

中学生が職場を体験 p4

北浦町の魅力再発見～観光マップ「北浦やさいパラダイス」 p6

初めてのクッキング! / 交通安全キャンペーン / 無人ヘリで! 空中散布 p8

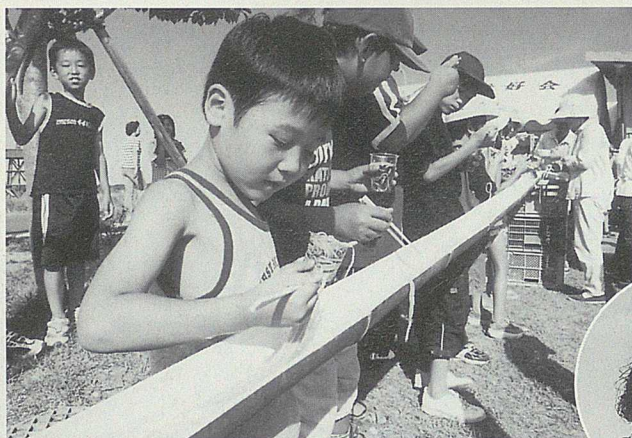
泳げるようになったかな? ～水泳教室 / 山田祇園祭

行方地区体育大会 / ミニバス交流大会 / 子ども会球技大会 p10

北浦地域の合併今昔 p11

食中毒予防について p14

女性行政推進委員会 / きたうら文芸 / ママと2 shot / 新鮮人 p15

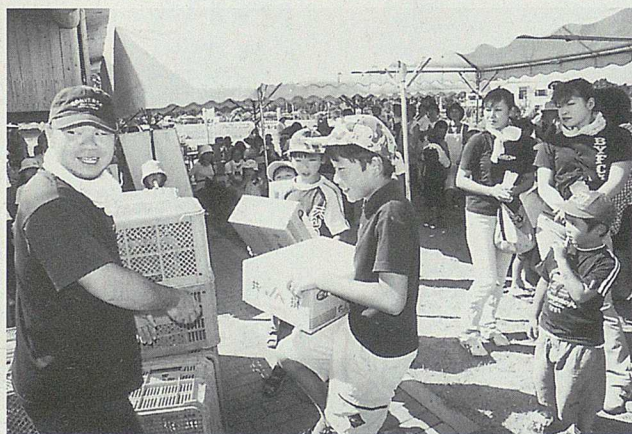


冷たくて、おいしかった流しうどん

北浦の野菜を勉強したよ！



井川清美さん（虹の会）



〇×クイズ正解者に町の野菜が贈られました



ひまわり迷路を楽しむ家族連れ



お腹一杯、食べました北浦の野菜！

去年は、家畜の肥料となる植物「ソルゴー」を植えました。今年、是非、花にしようと、真夏のシンボルである「ひまわり」に決定したそうです。この迷路の制作にあたり、3つの団体がそれぞれに種まきや除草作業と一連の準備を五月から行っていました。晴天続きにより二週間早く花が咲きましたが、無事、大人の背丈程に成長。ひまわりの中の迷路を楽しんでいました。

最後は「食べる」学習。町でとれた野菜入りのトン汁や冷やしトマト等が参加者全員に振るまわれました。

また、盛況だったのが、北浦の野菜（しそ・せり・みつば・生姜・ハス等）から生まれた無添加のうどんを使つての「流しうどん」…。大人も子どももお腹一杯に北浦の野菜を味わいました。「北浦の野菜をたくさん食べて、北浦の野菜を覚えて帰ってください」と話してくれた井川会長。

また、横瀬会長は、「今回、鉾頭会議・虹の会・農業担い手会の3つの農業団体が初めて合同でこの事業を行ったことが、とてもよかった。来年は、規模を大きくしたい」と早くも来年に向けての意気込みを感じました。

今後、こうした野外学習を通して、子どもたちが野菜に親しみ、将来的には町農業の発展と後継者育成につながることを望みます。



知ろう・食べよう。

北浦の野菜

ここ数年、地産地消の運動がどの地域でも盛んに行われています。わが町でも学校給食に地元の野菜を提供することなど、これまで広報紙でも紹介してきました。

そのような中、八月二日（月）、鉾頭会議（横瀬忠美会長）・虹の会（井川清美会長）・農業担い手会（高橋勲会長）の3つの農業団体が合同で、これまで得てきた知識や能力を活かし、町の基幹産業である農業を地元の子どもたちに伝え、世代を超えた交流を図ることを目的に、食農教育事業として野外学習会を行いました。

北浦湖畔「風と緑の広場」に集合した子どもたちとその保護者は約120名。3団体の会員、町内在住の茨城県農業経営士、女性農業士、青年農業士ほか、主催側を合わせ約150名の参加・協力を得て、賑やかに野外学習会が始まりました。

この学習会は、大きく3つの内容に分かれており、野菜に関する学習の場面では、鉾頭会議と農業担い手会会員により、「北浦の野菜を知ろう」をテーマに「北浦のチンゲン菜は日本一の生産量である」「北浦でとれる野菜は40品目である」などの〇×クイズを行い、最後まで残った子どもたちには、町特産の野菜（チンゲン菜・シメジ・なめこ・みず菜の詰合せ）がプレゼントされました。

北浦の野菜をみごとゲットした茂木善貴くん（津澄小1年）は「いつも北浦の野菜を食べています。野菜をもらってとても嬉しい」と笑顔で話していました。

続いて行われたのは、迷路ゲーム。子どもたちは、迷路内6箇所のポイント全てをまるくするスタンプラリーを体験しました。約二、五〇〇平方メートルの土地に植えられているのは「ひまわり」。

中学生が職場を体験

将来の生き方を考える

北浦中学校（生井澤澄夫校長）で、2年生を対象とした職場体験学習を毎年実施しています。

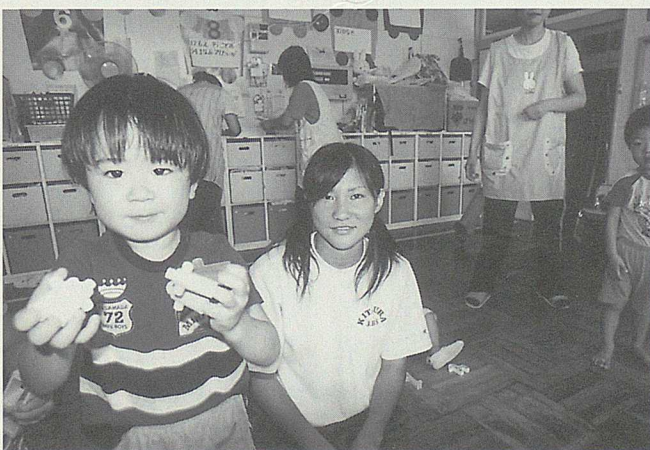
今年も、生徒たちに体験したい職業のアンケートをとり、それをもとにして、北浦町近隣の事業所において職場体験学習を体験しました。

菓子店、消防署、書店、スーパー、寿司店、自動車整備工場、工務店、パン屋、病院、美容室、保育園、幼稚園、図書館、ガソリンスタンドなどであり、訪問した事業所の数

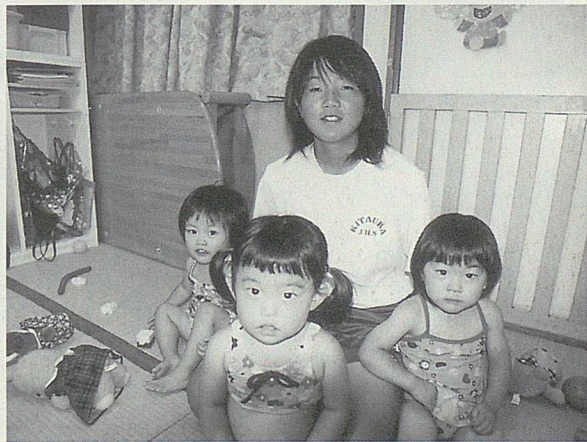
は34にもなり、八月一日～五日の間、生徒91名が各事業所に2名～5名ずつ分かれて参加しました。

生徒たちも、職業の大切さや大変さなど、身にしみて感じ取ることができ、働くことの大切さをあらためて感じ取ることができたようです。

慣れない職場で体験した生徒たちの感想、そして事業所の方の意見をご紹介します。



北浦保育園を訪問したのは、河野友美さん・河野瑞希さん・小沢泰代さんの3人。2歳児、1歳児、0歳児のクラスに分かれて、園児の世話をしました。「子どもが好きなので、保育園を希望しました」と河野友美さん。また、河野瑞希さんと小沢泰代さんは、「子どもが好きなので、将来は保育士になりたい」と笑顔で話していました。藤崎園長は、「毎回、生徒を受け入れているが、今回は少なくて少し寂しい。生徒はとも落ち着いていて、



よくやってくれています。また、職場体験に来た生徒が保育園に実習に来てくれるのでとても嬉しい」と話していました。

お菓子工房「マツヤ」を訪問したのは、高柳梓さんと成田友美さん。2人は半生チーズケーキのまわりのテープ巻きをしました。「ケーキが好きなので、マツヤさんを希望したが、思っていたより大変でした。」と高柳さん。



松信店長は、「ケーキ屋は、一見華やかに見えるが、下準備が大変。生徒たちは、最初は戸惑っていたが、だいぶ慣れてきて、うまくなった」と話していました。

車が大好きな松本和将君と店曲誠也君が、訪問したのは馬場自動車。車検前の自動車を念入りに清掃していました。「車に興味があるので、将来は整備士になりたい」と額の汗を拭きながら話してくれた2人。



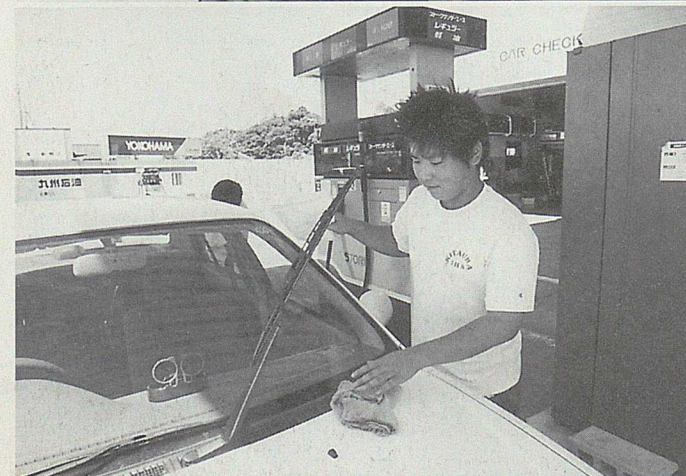
馬場社長は、「今回、初めて生徒を受け入れたが、2人とも素直で一生懸命やっている。車に興味があるので、午後はブレーキのしくみやタイヤの交換をする予定。明日は、車検センターを見学させたい」と笑顔で話していました。

石上ガソリンスタンドに訪問したのは、山崎宏也君と塙秀治君。2人は給油の車の窓拭きをしながら、お客さんに笑顔を振りまいていました。

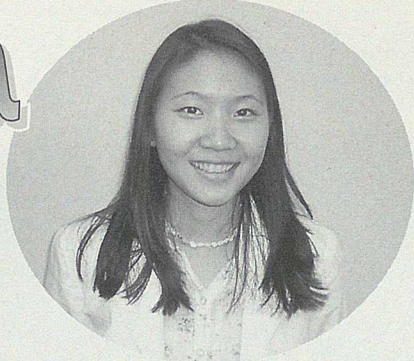


石上所長は「生徒たちも、今日で2日目なので、だいぶ慣れて、声も出るようになってきた。暑い中、よく頑張っている」と話していました。

中学2年生。将来の生き方を考えていく・・・大切な時期です。働くって、どういふことなのだろう。そんな体験を通して、自分自身を見つめることができたのではないのでしょうか。



Kitaura has a new ALT!



北浦町に新しいALTアイリーン・ウーさんがやってきました！2学期が始まる9月から北浦中の授業などで活躍してくれる予定です。

Hi, my name is Irene Wu. I am from Fremont, California. My parents are from Taiwan and I was born in Texas. I graduated this past March from UCLA majoring in Biology.

I like to swim, rollerblade, read, scrapbook, watch soccer games, and study Japanese.

I first became interested in Japanese culture in high school. My English teacher told my class that college is the best time to study abroad so I started to think about going to another country. I thought Japan would be a nice place although I did not know much about Japan. In college, I had to fulfill my foreign language requirement so I took Japanese class.

In the summer of 2001, I had a chance to study abroad for 1 month in Kyoto. I loved it and I wanted to come back to Japan. Last summer I went to Sapporo for 1 month. I also loved it.

After that I wanted to live in Japan for a longer time so I applied for the JET program. Living in Ibaraki is very different from living in Los Angeles but I am very happy and excited to be here. Los Angeles is very busy and there are a lot of cars. Ibaraki is very peaceful and quiet. I hope to be able to learn more Japanese during my stay here. My Japanese teacher in America encouraged me to study Japanese and I hope I can encourage students here to study English.

私はアイリーン・ウーです。カリフォルニア州のフリーモントから来ました。両親は台湾出身ですが私はテキサス生まれです。ロサンゼルスのカリフォルニア大学（UCLA）を卒業しました。専攻は生物学です。

趣味は、水泳、ローラースケート、読書、写真集を作ること、サッカーを見ること、そして日本語を勉強することです。

私が日本語に興味を持ち始めたのは高校生のときです。先生が大学は外国語について勉強するのに一番よい時期であると言われたのです。私は外国に行きたいと考えるようになりました。日本について多くは知りませんでしたが外国を勉強するなら私は日本が一番いいと思ったのです。日本を知るには日本語を知ることが必要だと考え、大学では日本語の授業をとりました。

2001年の夏、私は1ヶ月間、京都で外国を勉強する機会を得ました。京都はとても素晴らしかったので私は日本にもどってきたいと思いました。そして去年の夏、札幌に1ヶ月間行きました。札幌も又素晴らしいところでした。

2度の日本訪問で、私は長い間日本に住みたいと思い、JETプログラムに申し込みました。茨城の生活はロサンゼルスとはとても違いますが、私はここでの生活をとても楽しんでます。ロサンゼルスはとてもにぎやかで車が多いのですが北浦はとても静かです。私は北浦で日本語を勉強したいと思います。

アメリカの私の先生は私に日本語を勉強するように勧めてくれました。私は北浦の生徒に英語を勉強するように勧めたいと思います。

※対訳 高野 啓子先生（北浦中）

北浦町の魅力再発見

観光マップ「北浦やさしいパラダイス」



マップの中心になっているのが全面に描かれた手書きの地図。このイラストを描いていたのが下河辺勝子さん（繁昌）です。

完成したマップについて「ただの観光マップではなくて、野菜や自然環境を出せ、みんなの生活がいまみえる絵になれば」という思いで描きました。イメージを絵にしていくなのは難しかったですが、楽しみながら描くことが出来ました」と話してくれました。

5月中旬、町内各戸に野菜マップを配布しましたが、みなさん、ご覧になっていただけただろうか？

このマップは町外の人たちに北浦の野菜をPRするとともに、町民の皆さんにも北浦町の魅力を再発見していただくために、町企画課が製作したものです。

今回は製作に協力していただいた下河辺さんと藤原さんの「北浦町の魅力」をご紹介します。



下河辺勝子さん

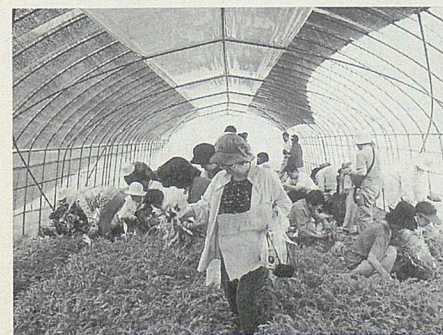
また、案を練るために町内各所に取材に出かけました。「地元でも意外と訪れたことがない場所を実際に自分の目で見ることで、北浦町の自然の豊かさを再認識しました」北浦町では、いろいろな農法を試している方がいることや、うなぎにまつわる昔話など、下河辺さんのご苦労の一端を聞くことができました。町外のお友達に町をPRすることもあるのだとか！



藤原美江さん

マップ作成の協力をしていただいた藤原美江さん（東京都調布市）の紹介で、町の野菜をぜひみてみようということで、調布市と千葉市の音楽を中心に活動する女性団体が6月に北浦町を訪れました。

当日は小貫の本澤政雄さんに協力していただき、とれたてのみず菜サラダ、町の野菜を使った献立の試食や収穫体験、また町文化会館などを紹介しました。参加した総勢32名の皆さんからは「新鮮な野菜が、とってもおいしい！」「北浦のやさしいを購入したい」「町文化会館は音響がとても良い」などの声が聞かれ、野菜の定期便の話も上がってきています。



泳げるようになったかな? ~ 水泳教室 ~



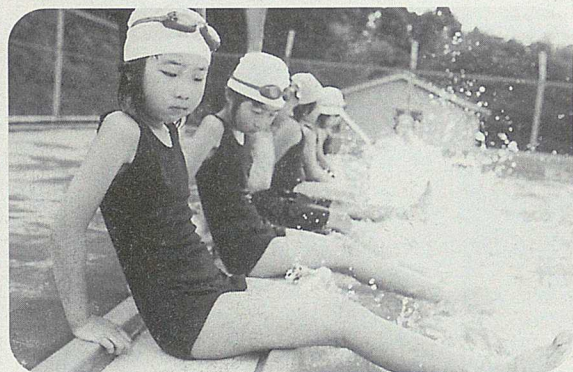
ちょっと休憩...

今年も武田小学校のプールで町内小学生を対象とした水泳教室が開催されました！

お天気に恵まれた今年の夏は、七月二十八日から予定されていた五日間のうち、一日が台風の影響で中止になったほかは、絶好のプール日和のなか教室を行うことができました。

参加した小学生は全部で五十一名。泳力ごとに四つのグループになり、少人数で細かな指導を受けました。

最初、水が怖くて顔をつけられない子もいましたが、教室が終了する頃にはだいぶ慣れてきた様子でした。また、最終日に泳力テストを行い、上級のクラスではクロールで約七十五メートルを泳ぎきった子もいました。



「お水が気持ちいい!」



「基本のバタ足!」

7月28日より3日間、山田祇園祭が行われました。

山田祇園祭



山田祇園祭の由来

山田祇園は八坂神社の祭りです。祭られた年代は確かではありませんが、言い伝えや神社内の樹齢からすると約三〇〇年前頃と推測されます。

祭られた由来は、現在の麻生町白浜の通称天王様の祭りの神輿が、当時、疫病の流行や神輿ぶりが荒いことなどから北浦に流され、その神輿が当時の山田村、儀右工門（吉内文啓さんの祖先の稲田（来通田）に漂着したことに始まります。儀右工門はさっそく自宅庭先に社を造り、神輿を祀りました。当時、北浦を高瀬舟が往来しており、そこを通ると船足が止まるとも言われました。

ちょうどその頃、村内では疫病が流行、多くの死者が出たため、村人が相談、現在の地に新殿を造営し遷宮したところ疫病はたちまち鎮まり、以後村人の信仰が厚くなったといわれています。

この八坂神社の信仰の勢いの強まりから、旧暦六月十五日に祇園祭りが行われるようになりました。祭りも最初は、水辺で身を洗ひ清め悪をはらう祓の神事であったものが、中世以降、華美をこらした山車・鉦・祇園囃子などが加わり、現在のような祇園祭となりました。

初めてのクッキング!



町保健センターにおいて、二歳児とそのお母さんを対象にキッズクッキング教室が開催されました。この教室は、こどもにとっての食事とおやつの必要性を学び、実際に手作りおやつを親子で楽しみながら作ることを目的としています。

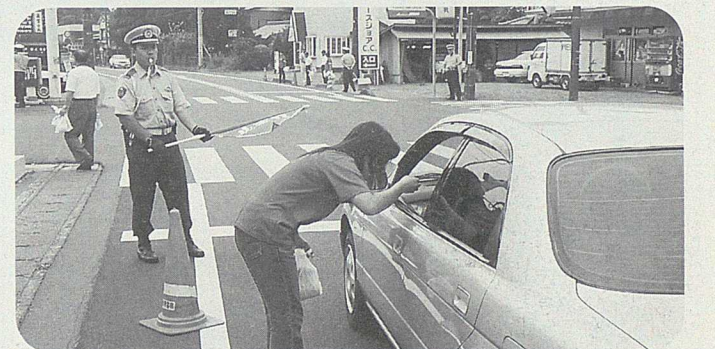
取材におうかがいした八月四日（水）のメニューは『プリン』と『ほうれん草のスコーン』。参加した三組の親子は粉だらけになりましたが、手作りを楽しんだ様子でした。お母さんたちからは、「こういう機会があればまた参加したい」などの感想がきかれました。

八月七日（土）、夏の交通事故防止県民運動に伴う交通安全キャンペーンが実施されました。

キャンペーン活動を行ったのは、安全協会北浦支部役員、町交通安全母の会連合会会員ほか総勢二十二名。山田のセブンイレブン前交差点において、うちわとトイレットペーパーを配布し、ドライバーに交通安全を呼びかけました。

今キャンペーンのような、地域ぐるみの地道な活動が、交通事故の減少につながると期待されます。

交通安全キャンペーン



無人ヘリで! 空中散布。



水稲病害虫防除を目的に八月二日から六日の五日間、無人ヘリコプターによる農薬散布を行いました。

町の無人ヘリ推進協議会のメンバーが中心となり、朝早くから、町内の水田約四〇〇ヘクタールを実施しました。猛暑の中、おいしいお米のために頑張ってくれました。



きれいにして事故防止!



麻生地区交通安全協会北浦支部（横瀬喜則支部長）は八月七日（土）毎年恒例の「木障払い・カーブミラー清掃」を行いました。

清掃を行った五十一名の参加者は四班に分かれ、町内に設置された五百個以上のカーブミラーの清掃や、道路にかかる樹木の枝切り等を行いました。

この定期清掃活動は、町内における交通事故防止に一役買っています。

第51回 行方地区体育大会

- ◆ 期 日 7月4日(日)
 - ◆ 場 所 町体育館他
 - ◆ 結 果
 - 優 勝 玉造町 (総合計146点)
 - 準優勝 麻生町 (" 134点)
 - 第3位 潮来市 (" 124点)
 - 第4位 北浦町 (" 100点)
- ※北浦町は、バスケットボール男子・バスケットボール女子・サッカーで第1位を獲得しました



← 優勝したサッカーのメンバー

第10回町内スポ少 ミニバスケットボール交流大会

- ◆ 期 日 7月3日(土)
- ◆ 場 所 町体育館
- ◆ 結 果
 - 優 勝 津澄バイナポー
 - 準優勝 津澄スピードMBSS
 - 第3位 津澄スピードスターズ

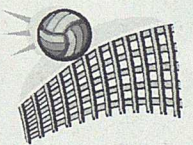
—フリースローコンテストの結果—

(各部優勝者のみ)

- 1・2・3学年の部 小林美輝(津澄) 4本
- 4学年の部 内野莉名(津澄) 5本
- 5学年の部 高宮梨乃(津澄) 3本
- 6学年の部 河野祐奈(津澄) 5本

第36回 町混合バレーボール大会

- ◆ 期 日 7月11日(日)
- ◆ 場 所 町体育館
- ◆ 結 果
 - 優 勝 ミックスジャム
 - 準優勝 ひかり
 - 第3位 ミラクル つすみブラック



子供会球技大会

- ◆ 期 日 8月8日(日)
- ◆ 場 所 町第2グラウンド
- ◆ 結 果
 - 優 勝 あさつゆ
 - 準優勝 内宿子供会
 - 第3位 要すずらん
 - " 北浦

今大会で優勝したあさつゆ、準優勝した内宿子供会の両チームは、町の代表として、8月22日に麻生町民運動広場グラウンドで行われる行方地区大会へ出場します。



↑ あさつゆチーム



↑ 内宿子供会チーム

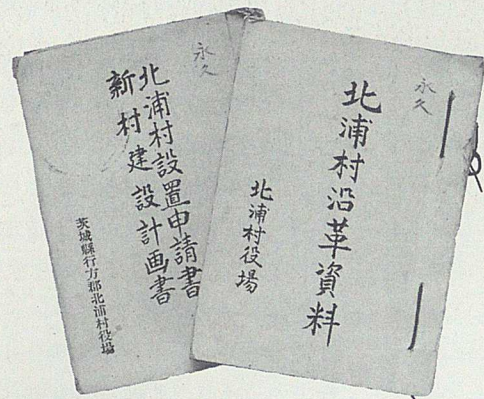
町史編さんだより ④

北浦地域の 合併今昔

合併今昔



現在、北浦町、麻生町に玉造町を加えた三町の合併が着実に進行しています。その情報は、『広報きたうら』や『議会だより』をとおして逐一報告されていますので、合併にむけた進捗状況が手にとるようにわかります。しかし、昭和三十年(一九五五)のときの北浦村合併はどうだったのでしょうか。



▲昭和30年の北浦村合併に関する資料
(北浦町役場蔵)

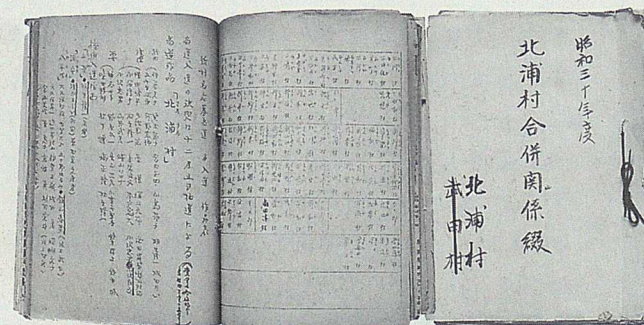
町史編さんのための資料を探していたところ、町役場より「昭和三十年度 北浦村合併関係綴」「北浦村沿革資料」「北浦村設置申請書・新村建設計画書」の三点を見つけ出すことができました。この三点は、津澄村、要村、武田村の三か村が合併協議会を設立してから合意にいたる経緯や、その後の北浦村建設計画に関する貴重な資料です。では当時の合併の足跡を探ってみましょう。

「昭和三十年度 北浦村合併関係綴」は一〇〇ページをゆうに超える分厚い綴り資料です。中身は、昭和三十年一月十七日付の北浦村合併の茨城県指令にはじまり、合併町村票(合併時の人口や財政等の状況調査票)や村議会議員の身分取扱、旧村沿革資料等が丁寧に綴られています。なかでも合併協議会を軸とした合併の経緯が事細かく記載されており、合併のためのプロセスや苦勞をうかがうこ

とができます。

そのなかの興味深い資料の一つに「懸賞募集による応募新村名一覧表」があります。現在の北浦村の名は、懸賞応募による当選作品名であることは、以前町史編さんだよりで紹介したとおりです。その応募村名のすべてが記載してあるのです。いろは順で、稲田村、稲穂村から最後の巣立村にいたるまで実に六〇三の村名があります。そのなかで三三名が、みごと当選した「北浦村」を命名したことになります。同時に佳作が一〇点選ばれました。立香村、浦安村、八千代村、湖北村、明和村、昭和村、高津村、日向村、穂波村、朝日村。いずれも村の特徴や発展を願ったすばらしい村名かと思えます。佳作には選ばれませんでした。三三の文字を使った村名がちょうど一〇〇あります。津澄村、要村、武田村の三か村の調和と融合を第一に考えた村名であり、当時の状況を如実に伝える大切な資料です。

また新市名や新庁舎の場所選定も決定までいわず、これから新市の船出までには紆余曲折が予想されます。北浦町民としては合併に向けてあるいは合併後の行政に関して、不安な側面もあるかと思えます。しかし、明治時代、昭和



▲「懸賞募集による応募新村名一覧表」の一部と新村名「北浦村」の当選を記した文書(北浦町役場蔵)

時代の二度の町村合併が立証しているように、住民一人ひとりが前向きな姿勢で建設的な姿勢で自治体運営に取り組むことができれば、必ず未来は開けるはずです。

(町史編さん専門委員
榎村 毅)

※お詫びと訂正※
NO.37は欠番となります。

第23回百里基地航空祭

■日 時 9月26日(日)
午前9時から午後3時

■主要行事

- ①展示飛行
- ②地上展示(各種航空機、装備品等)
- ③各種イベント
- ④観覧車(花電車)運行

■交通手段

当日は、多数の来場者が予想されることから、電車・バス等の公共機関をご利用下さい。

※シャトルバス(有料)が運行予定です。

自家用車での御来場については、駐車券をお持ちの方に限定させていただきます。

※応募方法についてはお問合せ下さい。

■問合せ先

航空自衛隊百里基地第7航空団監理部 広報班

☎ 0299-37-3117

多様な働き方を考える
セミナーのご案内

■日 時 10月14日(木)
13時30分～16時00分

■場 所 三の丸ホテル 4階
(水戸市三の丸2-1-1)

■対象者 人事労務担当者等100名

■内 容

・第一部

「仕事と家庭両立支援セミナー」

・第二部

「パートタイム雇用管理改善セミナー」

■申込み先

(財)21世紀職業財団茨城事務所
〒310-0011 水戸市三の丸1-4-73
水戸三井ビル12階

☎ 029-226-2413

Fax 029-226-2740

■申し込み期限

平成16年10月7日(木)

■参加料 無料

『秋バラまつり』の開催

茨城県フラワーパークでは「秋バラまつり」を開催いたします。園内では600品種3万株の世界のバラが咲き競い、すばらしいハーモニーを楽しめます!!

■期 間 9月25日～11月14日

■開園時間 午前9時～午後5時
(入園は午後4時30分まで)

■休園日 月曜日(月曜日が祝祭日の場合その翌日)

※9/27～11/22は無休

■入園料

個人 大人740円 小人370円
団体 大人600円 小人300円
(20名以上)

■問合せ先

茨城県フラワーパーク

茨城県新治郡八郷町下青柳200

☎ 0299-42-4111

HP <http://flowerpark.or.jp>

在宅の看護者の皆さん
ナースバンクに登録を!

在宅の看護者(保健師、助産師、看護師、准看護師)の方に1人でも多く就業していただくため、ナースバンクに登録をお願いいたします。就職相談及び職業紹介を行っております。登録されますと年4回求人情報を送付いたします。

■問合せ先

社団法人茨城県看護協会

茨城県ナースセンター

〒310-0034 茨城県水戸市緑町3-5-35茨城県保健衛生会館内

☎ 029-225-8572

fax 029-226-0493

動物愛護月間

9月1日から9月30日は動物愛護月間です。

○動物を飼うときは、習性を良く理解し、終生責任を持って飼いましょう。

○人と動物との調和のとれた豊かな環境作りに心がけましょう。

○動物をいたわり、小さな命を大切にしましょう。

—大好きいばらき動物愛護

フェスティバル2004—

■日時 9月18日(土)

午前10時から午後2時まで
—動物愛護絵画・ポスター及び標語

コンクール優秀作品展示会—

■日時 9月1日(水)～9月30日(木)

午前10時～午後4時

(土日祝祭日除く、最終日は午後2時まで)

※会場、問合せ先は、茨城県動物指導センター(笠間市日沢47
☎ 0296-72-1200)

職場でのトラブルの解決
をお手伝いします

茨城労働局総務部企画室及び県内労働基準監督署内の総合労働相談コ

ーナーを窓口として、解雇、配置転換、賃下げ、セクハラ等、労働問題に関するあらゆる分野の相談を受け付けています。

■問合せ先

茨城労働局総務部企画室

☎ 029-224-6212

<http://www.ibarakiroudoukyoku.go.jp/annai/annai02.html>

きのこ料理コンクール

小・中学生が作るきのこ料理を募集します!!

《募集内容》

- ・きのこを食材の献立に取り入れる
 - ・調理時間が1時間以内の献立
 - ・4人前の料理で材料費2,000円以内
 - ・未発表のものとする
 - ・応募用紙に所定の事項を記入
- ※メニューの著作権、版權は主催者に帰属します。

■締め切り 9月30日(木)

※学校をとおして応募してください。

■問合せ先

茨城県農林水産部林政課

指導グループ 村松

〒310-8588 水戸市笠原町978-6

☎ 029-301-4026

司法書士法律相談

「法の日」にちなんで全国一斉司法書士法律相談を実施します。

■日時 平成16年10月2日(土)

午前10時から午後3時まで

■会場 鉾田町中央公民館

■内容 登記・供託・訴訟書類の作成等司法書士の業務に関する相談
※相談料は無料です

■問合せ先

茨城司法書士会

水戸市五軒町1丁目3番16号

☎ 029-225-0111

少額の紛争や多重債務等
相談に応じます。

「茨城司法書士会少額サポートセンター」では司法書士が少額の紛争や多重債務等の無料相談に応じています。

■日時 毎週水曜日午後1時より午後6時まで(但し、年末年始及び水曜日が祝日の場合は休みます)

■相談先

☎ 090-5572-8524

☎ 090-5309-6906

■問合せ先

茨城司法書士会

☎ 029-225-0111

労働者個人と使用者の間の
トラブルを調整します

茨城県地方労働委員会では、労働組合に加入していない会社員、パートタイマー、派遣社員の方など使用者との間の紛争解決のための援助を行っています。

費用は無料ですので、御利用の手続きについては下記にお問合せ下さい。

■問合せ先

茨城県地方労働委員会事務局

水戸市笠原町978番6

☎ 029-301-5563

E-mail: chiroui@pref.ibaraki.lg.jp

国民生活金融公庫の「恩給・共済年金担保貸付」・「国の事業ローン」のご案内

国民生活金融公庫では、恩給や共済年金を受けていらっしゃる方に融資を行っております。また、中小企業の方のための事業資金融資もお取扱っています。

※詳しくはお気軽にお問合せ下さい。

■問合せ先

国民生活金融公庫 土浦支店

〒300-0043 土浦市中央1-1-26

☎ 029-822-4141

HP <http://www.kokukin.go.jp/>

秋の行政相談週間 10月18日(月)～24日(日)

毎日の暮らしの中で、「苦情、意見、要望を申し出たが、その措置・説明に納得できない」、「相談したいことがあるが、どこに窓口に行けばよいか分からない」などと悩んでいることはありませんか?

総務省では、住民の皆様から、登記、国有財産、社会保険、労働基準、運輸、国道(高速道路)、一級河川、郵便・貯金・簡易保険などの業務に関して、苦情や問合せ等を受け付けて、公正・中立の立場から関係行政機関等に必要なあっせん又は通知を行い、その解決・実現の促進を図ったり、窓口教示等を行っています。

この相談制度を多くの方に知っていただき、利用していただくために、10月18日(月)から24日(日)までの1週間を「秋の行政相談週間」と定め、全国各地で行政相談所等が開設されます。

当町においては、総務大臣から帰属された行政相談委員が、次のとおり行政相談所を開設します。相談は、無料・秘密厳守ですので、お気軽にご利用下さい。

■日 時 10月20日(水曜日) 13時～16時

■場 所 町保健センター

■問合せ先 北浦町 総務課 行政係 ☎ 35-2111(内線261)

なお、当町担当の行政相談委員は、次のとおりであり、この相談所以外でも定例相談所等において相談を受け付けています。

北浦町担当行政相談委員

氏名 本戸 俊文

住所 繁昌691-1

電話 35-2597



町議会との懇親会



七月二十日（火）、町役場大会議室において、町議会と女性行政推進委員会（真家栄子委員長）の懇談会が開かれました。

今回の懇談会に至った経緯については、女性行政推進委員会が北浦町で開催された第六回行方郡合併協議会（六月十日開催）を傍聴したのをきっかけに、推進委員会から、「是非、一度町議会と話し合う機会を持ちたい」という意見が出され、町議会へ要望をして実現しました。

内容としては、主に三町の合併について話し合わせ、「これまでの進捗状況や新市誕生後の新しいまちづくり」等、推進委員会が質問・要望をして、議会がそれに答える形で約二時間三十分にあたり、終始和やかな雰囲気で行われました。

推進委員会から「北浦町は、雇用の場がなく地元の魅力がないのではないだろうか。人材育成や土地を有効活用してのものづくり、さらに多くの知恵を出し合いながらの新たな形（外部の人を受け入れたり、豊かな発想等）でのまちづくりへと繋がれたら良いと思う」の意見がありました。

また、議員からは「北浦町としては、新しいまちづくりの中で特に①複合団地の問題②高速道路の延伸③農業振興等を中心に引き続き取り組んでいきたいと思っている」の意見がありました。

今回、初めての試みとして、町議会と懇親会を行いました。引き続き、町議会の傍聴やボランティア活動を通じて、町政への関心を深め、女性の社会参画を図り、地域で活躍できる人材の育成を推進していきます。

みんなの広場

男女が自立して社会に貢献できることを目指して活動している女性行政推進委員会

きたうら文芸

俳句

北浦俳句会

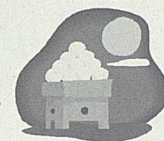
（久保博光選）

ばんのうを湖に沈めて夏祭り
農の血を湯かせ祭りの笛太鼓
山車に娘も燃やす夏祭り
旅に会うやぐら太鼓や祭り笛
みだれ打つ祭り太鼓や熱兆す
祭り笛頑固おやじの背も笑う
金魚売り水を叩いて客待てり
鼻面をなでていたわる祭り馬
まなうらに徹越の残る夏祭り
三日かけ祭り当番終わりけり
親も子も祭り囃子に浮かれ居り
湖風に寄せては引いて祭り笛
川越して祭りばやしが誘い来る
どうしてもゆがみなおらず夏帽子
水芭蕉口づけしたき北の旅
風つれて風鈴売りの乙女来る
職さまり祭りハッピーも巣立ちけり
八十路すぎ元氣あふれる祭り好き
少女らの歌声はすむ祭り笛
色さめて風の中なる残り菊
燈がともる裏町酒場萩の花
祭り笛睡魔の中に消えてゆく

久保 高堀 飯額 関石 東高 高井 高比 高野 羽松 本寺 桂坂 日
博 橋 川 島 賀 川 上 野 野 橋 川 野 嘉 野 村 生 本 戸 内 木 本 下
光 哲 紀 秀 英 ひ ち 郁 敏 幸 敬 雅 三 千 春 玉 江 さ く 子 風 代 利 子

新着図書 (7/1~7/31)

残暑は厳しいけれど、
季節はもう秋！！



■一般図書 81冊

*怒りをコントロールできない子の理解と援助(大河原美以) *証言台の母(佐木隆三) *オリンピックのルーツを訪ねて(西川亮) *IC O(宮部みゆき) ほか

■参考図書 1冊

*最新天文小事典(福江純)

■児童図書 33冊

*川を治め水と戦った武将たち(かこさとし) *花のき村と盗人たち(新美南吉) ほか

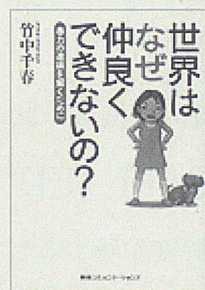
■絵本 11冊

*ねずみくんのプレゼント(なかえよしを) *ともだちになろうよ(中川ひろたか) *とんとんとんと(五味太郎) ほか

■AV 2巻

*運動靴と赤い金魚(マジッド・マジディ) ほか

話題の新作



世界はなぜ仲良くできないの？
こどもたちのこんな質問に、
あなたは答えられますか？
「暴力の連鎖」を解くために、
みんなが知るべきこと、考
えるべきこと。
国際政治学者のちはる先生が、
やさしく解説。

世界はなぜ仲良くできないの？
竹中千春／阪急コミュニケーション

●編・集・後・記●

いよいよ10月（鹿行地区は12月）からNHKで『県域デジタル放送』が始まります。1日につき2時間40分、県内の情報を毎日放送すること、北浦町のPRをする機会も増えるのではないのでしょうか。

でも、町の魅力って！？何を伝えれば良さをわかってもらえるの！？と思っていたところに、P6で紹介した藤原さん達の北浦町訪問。喜んでくれている姿を見たら、ちょっぴり町が誇らしく思えたのでした。(N)

はつらつ保健だより

食中毒予防について

一年のうちで最も食中毒が発生しやすい時期になりました。なぜなら、梅雨から9月頃にかけての気温と湿度は、食中毒の原因菌（細菌類）が増殖するのに最適だからです。また、家庭での食中毒は軽視されがちです。時には死に至ることもありますので、重症化する前に早めに医療機関に行くようにしましょう。

食中毒予防の3原則

①『菌を増やさない』

生鮮食品は常温で長時間置かずすぐに冷蔵庫へ入れるか、できるだけ早く調理して、早めに食べるようにしましょう。（冷蔵庫や冷凍庫は菌を殺すのではなく活動を停止させるだけなので、室温に戻すと再び活動し始めます。）

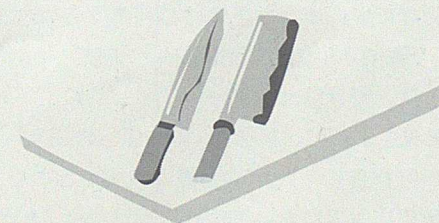
②『菌を付けない』

手洗いをこまめにし、食器や調理器具の使用前後はよく洗い、乾燥させるようにする。

③『菌を殺す』

ほとんどの菌は熱に弱いので十分に加熱（食品内部の温度が75℃以上になる状態を1分以上続ける）する。

が基本です。加工技術や、調理時の加熱処理、冷蔵庫・冷凍庫などの設備を過信せず、家庭で基本を守って、食中毒を防ぎましょう。



◆お問合せ先

町健康推進課（保健福祉センター内）

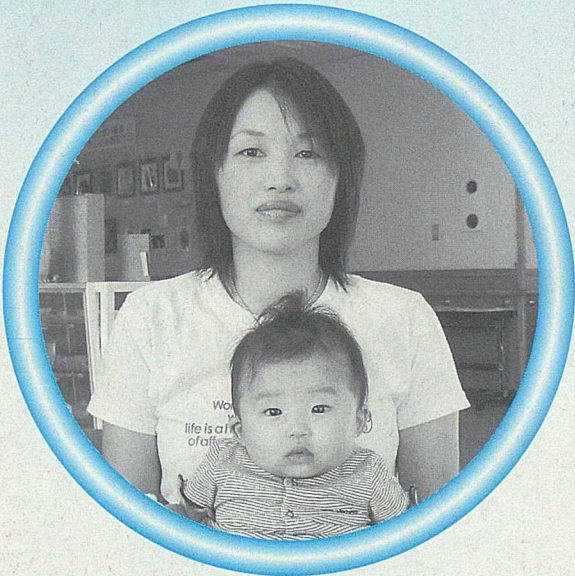
TEL 34-6200

●^{はなわ}埴^{ちひろ} 知優ちゃん (H16.3.9生まれ)

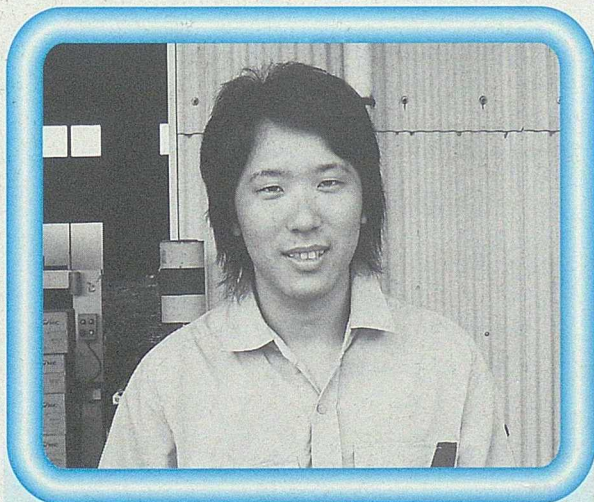
行戸の真樹さん・紘子さんのお子さん

おじいちゃん、おばあちゃんにとって初孫、ひいおばあちゃんにとって初ひ孫となった知優ちゃん。家族みんなでとりあいになっちゃうくらい愛されて育っているそうです。

お母さんの紘子さんは知優ちゃんの将来について「名前のとおり誰にでも優しい子に育てほしい」と話してくれました。



しん せん びと
新鮮人 Fresh person



●^の野^{はら}原^{まさ}正^{ゆき}幸さん 21歳
射手座・B型 (小貫)
農協 (JAなめがた)

ママとZshot



●^{なりた}成田^{いぶき} 維吹くん (H16.3.3生まれ)

成田の誠さん・恵美さんのお子さん

4ヶ月になった維吹くんの最近の日課はお風呂上りにボカリをゴクゴク飲むこと!

あうあうと話すようになったり、じたばたと手を動かしたり・・・人生初の夏は暑くてあせもができてしまったのだそう。

●趣味は?

野球やスノーボードが好きです。

●自分はどんな人?

気まぐれかも?

(なかなか答えてもらえませんでした。お会いした印象はとても気さくで明るそうな方でしたよ!)

●好きなタイプは?

おもしろくて、家庭的な人。

●町について

自然が豊かで、農業が盛んな町だと思います。